Ver3 調査回答ツール操作マニュアル

製品含有化学物質調査・回答マニュアル(JIG-101A 対応版) 2007.12.14 第4版 による

2007年12月18日第4版

(調査回答ツール Ver3.34 対応)

グリーン調達調査共通化協議会



改訂履歴:

<u>2006.01.10 : 新規作成 (調査回答ツール Ver3.00 対応)</u>

- <u>2006.06.09 : 第2版 (調査回答ツール Ver3.11 対応)本マニュアルの記載文の変更は無し。</u>
 - 調査回答ツール Ve3.11 の変更内容(標準型、詳細型共通)
 - ①. 使用用途分類を5項目追加(Pb-R-10, 11, 12, 13, 14)
 - ②. ドラッグアンドドロップ編集機能の解除を取り止め
 - ③. 部品一覧印刷の部数を2部から1部に変更
 - ④. 依頼元の部番および名称欄の幅を拡張(日本語ツールのみ)
- <u>2006. 12. 18 : 第 3 版 (調査回答ツール Ver3. 22 対応)</u>

<u>調査回答ツール Ver3.22 の主な変更内容(一部を除き標準型、詳細型共通)</u>

- ①. 使用用途分類を10項目追加(Cd-R-3, Cr-R-2, Pb-R-15~22)
- ②. 入力必須の項目を特定(11項目)
- ③. 入力文字数制限(文字列長)の拡大(17項目)
- ④. その他の機能改良など
 - (詳細はホームページ掲載資料:調査回答ツール Ver3.22 仕様概略を参照)
- <u>2006.03.12 : 第3.1版 (調査回答ツール Ver3.23 対応)</u> Ver3.22 からの変更点は JGP ファイルの出力条件追加と関連する Warning 表示のみ。 他の変更なし。(6ページ4.3の注意事項: <JGP ファイルの出力条件>を追記)
- 2007.12.18: 第4版 (調査回答ツール Ver3.34 対応)
 - JIG-101A 対応により物質名称の一部追加・変更
 - ②. JIG-101A 対応により使用用途分類の以下の変更
 - カドミウム; Cd-J-99, Cd-J-0, Cd-R-0 および Cd-RE-98 の 75ppm を 100ppm に変更
 - オゾン層破壊物質; C04-J-99 および C04-J-98 を削除、C04-J-0 の表記を「全て」に変更 (旧データの C04-J-99, C04-J-98 は C04-J-0 として読み込む)
 - ③. 含有化学物質情報画面下部の閾値レベルによる含有判定の説明文に一部追記 (調査回答ツール操作方法の変更なし)

(注) 本調査回答ツール操作マニュアルは「製品含有化学物質調査・回答マニュアル」を上位 文書として、パソコンを使用した電子メールによる電子データの交換を前提に操作方法、 データ入力方法を説明しています。

目次

1. 2. 3.	Ver3 調査回答ツールの特徴 ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて	. P.3 . P.3 . P.4
4.	 調査依頼データ(JGP ファイル)の作成. 4.1 調査回答ツールの起動 4.2 基本情報の入力 4.3 調査対象アイテムに関する情報の入力 4.4 JGP ファイルの保存(SAVE JGP) 4.5 調査回答ツールの終了 4.6 JGP ファイルを調査回答元へ送る 	. P.4 . P.5 . P.6 . P.6 . P.7 . P.7
5.	調査回答データ (JGP ファイル)の作成 5.1 調査依頼元からのデータの読み込み (LOAD JGP) 5.2 回答元が入力する項目 5.3 含有化学物質情報の入力 5.3.1 調査回答ツール フォーマット1 (標準型)の場合 5.3.2 調査回答ツール フォーマット2 (詳細型)の場合 5.4 エラーチェックの実行 5.5 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存 (SAVE JGP) 5.6 調査回答ツールの終了 5.7 JGP ファイルを依頼元へ送る	. P. 8 P. 10 P. 11 P. 12 P. 15 P. 18 P. 19 P. 20 P. 21
6.	フォーマット2(詳細型)からフォーマット1(標準型)への データコンバート	P. 21 . P. 21 . P. 22
7.	旧フォーマットデータ(Ver1, Ver2 の JGP ファイル)の読み込み	P. 22
8.	 その他の各種ボタンの機能 8.1 Copy 8.2 Clear 8.3 昇順・降順 8.4 並べ替え 8.4 並べ替え 8.5 ADD JGP 8.6 見出し変更 8.7 部品一覧印刷 8.8 印刷 8.8 印刷 8.9 エラーチェック(基本情報画面) 8.10 エラー確認(") 8.11 エラーチェック(含有化学物質情報画面) 	P. 23 . P. 23 . P. 24 . P. 24 . P. 24 . P. 25 . P. 25 . P. 26 . P. 26 . P. 26 . P. 27 P. 27 P. 27
	8.12 エラー確認(<i>"</i>)	. Р. 27 . Р. 27

- 1. Ver3 調査回答ツールの特徴
 - ①. ツールの種類

2種類の調査回答ツールがありますが、それぞれのツールで作成する JGP ファイルは区別する ため拡張子を変えています。

・調査回答ツール フォーマット1 (標準型) Ver3.XX → JGP1 ファイル (拡張子 jgp1) ・調査回答ツール フォーマット2 (詳細型) Ver3. XX → JGP2 ファイル (拡張子 jgp2)

(注) データ確認ツールはありません。

- ② 各ツール間のデータ入出力の関係
 - 1) (詳細型)のデータは(標準型)ツールで読み込むことによって(標準型)データにコンバ ートできます(制約あり、21ページ参照)。逆は不可です。
 - 2) 旧フォーマットデータ(Ver1, Ver2)も両 Ver3, XX ツールで読み込めます。 (データ制限あり、23ページ参照)
- 新しい機能
 - 1) エラーチェック:各画面に入力したデータのチェックを自動的に行い、エラーとワーニン グ内容を表示します。 主なチェック内容: ・記入漏れチェック ・データ不整合チェック ・全角半角チェック
 - ・年月日チェック
 - ・文字数、桁数チェック
 - 2) 並べ替え : 調査対象アイテムの各項目をキーにしたデータの並べ替えが出来ます。
 - 3)各画面の印刷 :基本情報/製品・部品・材料情報の画面または化学物質含有情報の画面を 印刷出来ます。
 - 4) その他 :他の JGP ファイルの追加読み込みなど。
- 2. ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて
 - ①. 対応するエクセルのバージョン Excel 2000 Windows 版
 - Excel 2002 Windows 版 Excel 2003 Windows 版

* Excel および Windows は米国 Microsoft corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

- OS は上記エクセルが対応する Windows (Windows 2000, Windows XP)とします。
- ③. 言語による対応組み合わせ
 - ・日本語版ツールは、日本語版 Excel と日本語版 OS (英語版ツールで作成した JGP ファイルも読み込めます。)
 - ・英語版ツールは、英語版 Excel と英語版 OS、日本語版 Excel と日本語版 Excel とします。 (日本語環境でも英語版ツールが使えます。)

3. ツールのダウンロード

各 Ver3 調査回答ツールは下記の JGPSSI ホームページに無料で公開しています。どなたでも自由 にお使いになれますので、ダウンロードしてご自分のパソコンに保存して下さい。

JGPSSI ホームページ: <u>http://www.jgpssi.jp</u>

・調査回答ツール フォーマット1 (標準型) Ver3. XX. xls ^{*1}

・調査回答ツール フォーマット2 (詳細型) Ver3. XX. xls ^{※1}

<u>※1:本ツールは法令への対応、機能の修正などのために改版することがあります。お手元にダウ</u> <u>ンロードしたファイルが最新版である事を確認の上、お使い下さい。</u>

- 4. 調査依頼元による調査依頼データ(JGP ファイル)の作成
 - 4.1 調査回答ツールの起動

依頼元は使用する調査回答ツールを選び、Excelを起動し「マクロを有効にする」を選択し 画面を開きます。

(注) 本ツールを使用する場合にはマクロのセキュリティーレベルを「中」に設定して下さい。 セキュリティーレベルが「高」に設定されていると下記の警告が出ます。[OK]のボタンをクリ ックすると下記の警告は消えますが、本ツールを使用する事はできません。Excelのメニュー のツールを選び、マクロのセキュリティーの画面で設定を「中」に変更してから Excel を再起動 し、再度ツールを開いて下さい。

Windows	XP の表示例	:
---------	---------	---

Micros	soft Excel
♪	マクロが使用できません。セキュリティ レベルが高に設定されています。また、デジタル署名された信頼された証明書がマクロに添付されていません。マクロを実行す るには、セキュリティ レベルを下げるか、または証明機関が発行する証明書を使用してマクロに署名するよう作成者に依頼するようにしてください。ただし、セキュリ ティ レベルを下げるのは推奨しません。
	ヘルプの非表示(£) << へルプ ウィンドウで開く(Q)
次の理日 1.	 由により、このエラーが発生する可能性があります: マクロのセキュリティが以下のように設定されている場合: ・ [最高] に設定されており、署名付きマクロであるが自動的に無効になる場合、次の手順でマクロを有効にできます: 1. [ツール] メニューの [マクロ] - [セキュリティ] をクリックします。[セキュリティ] ダイアログの [セキュリティ レベル] タブでセキュリティ レベルを[高] に設定します。 2. ファイルと現在実行中の他のアブリケーションのインスタンスを開じます (実行しているすべてのアブリケーションも閉じます)。 3. 再度ファイルを開き、証明書の詳細を確認します。発行者からの証明書を信頼する場合は、にの発行者のマクロを常に信頼する] チェック ボック マ
	OK

下記の表示が出たら、〔マクロを有効にする〕をクリックして下さい。

セキュリティ警告
[«] C:¥Documents and Settings¥A-TAJIMA¥デスクトップ¥田島フォルダ¥5システム WG¥060106_V3.00ツール(日本語)¥調査回答ツールV300-F1-060106.xls"(はマクロを 含んでいます。
マクロにはウイルスが含まれている場合があります。通常、マクロを無効にすると安全です が、マクロが適正な場合、機能が使えなくなります。
マクロを無効にする(<u>D</u>) マクロを有効にする(E) 詳細(<u>M</u>)

次の画面が表示されます。

!	グリーン調達 調査 フォー・	回答ツール マット1(標準型) Ve	r3.23		Copyright(C) JGPSS	& NEC Soft, Ltd.	U	OAD JGP	ADD JGP	SAVE JGP		変更 [15	-Ťェック) [I		iべ替え	部品一覧印刷)								
	整理委号 依赖元記入日(YYYY/MM	/00)			データフォーマットVer	3.21		回答元記入日(Y	(YY/MM/DD)		-]													
	依頼元に関する情報 会社名				日本	***		回合元に関すの 会社名 DUNSナンバー	用戰	2			日本語												
	8185 J//- 部署名 担当者名 東井陽平(田尚来道路中							は50 影響名 記入者名 家科家里																	
	4.000円(100円) FAX番号 E-MAILTドレス 体統三倍環境日1							E-MAILアドレス ためこの第一日																	
	在相元管理項目2 依賴元管理項目3								11日本(王は)																
	製品·御品·材料情報	I .						回答に関する追	2月秋(天命) 2月秋(日本語)																
	界順 降順	界順 降順	Ī											1											
No	##= n												第第 第第									昇順 降順			
	紙類九00 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo	全異記号·JIS記 号	メーカー着色No.	復厚(mm)	ŧ	径(nn)	依赖元项目1	依賴元項目2	依赖元项目3	メーカー名	(外間)(中間) 国答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データ バージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(昇順) (発順) 含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
1	祝順元(1) 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo	全属記号·JIS記 号	メーカー着色No.	板厚(nm)	ŧ	\$(mn)	依赖元项目1	依赖元项目2	依赖元项目3	x-m-8	(外球)(牛球) 回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 都品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データ バージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	屏順 降順 含有総合判定	化学物質 情報入力 hut	化学物質 データコピー Copy	化学物質 データ消去 Cter
1	被称元の 製品/都品の番号 2 3	佐親元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo	全属記号·JIS記 号	メーカー着色No.	板厚(nm)	色	径(nn)	依赖元项目1	依赖元项目2	依赖元项目3	メーカー名	(外根)(件根) 国答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	<u> 国答元項目3</u>	データ バージョン	改打日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位賞量 (g/調査単位)	界順) 降順 含有総合判定	化学物質 情報入力 hput hput	化学物質 データコピー Copy Copy Copy	化学物質 データ消去 Car Car Car
- 4 - 4	32.000 製品/都品の番号 2	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo	全属記号·JIS記 号	メーカー着色No.	極厚(mm)	ŧ	径(nn)	依赖元项目1	依赖元項目2	依赖元項目3	x-b-8	(外間)(件間) 回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 都品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データ バージョン	教訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調查单位質量 (g/調查单位)	界順 降順 含有総合判定	化学物質 情報入力 hput hput hput hput	<u>化学物質</u> データコピー Copy Copy Copy Copy	化学物質 データ消去 Clear Clear Clear Clear
1 22 23 4 23 20	12. 製品/創品の番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	佐間元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo	全異記号·JIS記 号	メーカー着色No.	極厚(mm)	Ē	径(nn)	依赖元项目1	依賴元項目2	依赖元项目3	x-5-8	() (FR) (FR) 回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 都品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	- 7-9 バージョン	改打日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(昇順) (降順) 含有総合判定	化学物質 情報入力 haat haat haat haat haat haat haat	化学物質 データコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy	化学物質 データ清去 Cear Cear Cear Cear Cear Cear
- 400	22. 製品/都品の番号 2 2 3	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo	全属記号·JIS記 号	メーカー着色No.	板厚(nn)	Æ	₩(mm)	<u>依赖元项目1</u>	依赖元项目2	依赖元项目3	x-5-8	() (FR) (FR) 国答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 都品/材料の名称	图茶元项目1	回答元項目2	<u>国茶元項目3</u>	データ バージョン	ðffВ үүүү/ми/ро	額査単位	調査单位質量 (g/調査単位)	(昇順) (降順) 含有総合相定	化学物質 情報入力 hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat	化学物質 データコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy	化学物質 データ清去 Cear Cear Cear Cear Cear Cear Cear Cear
		依頼元の 製品/都品/材料の名称	材料グレードNo	全属記号·JIS記 号	メーカー着色No.	祖厚(mn)	ŧ	@(mn)	_ 依赖元项目1	依赖元项目2	依赖元项目3	x-tr-8	() () () () () () () () () () () () () (回答元の製品/ 都品/材料の名称		回答元項目2	<u>国茶元項目3</u>	- データ バージョン	改打日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(昇順) (降順) 含有総合相定	化学物質 情報入力 hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat	<u>化学物質</u> データコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy	化学物質 データ清去 Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear Clear
	次成大U 製品/都品の番号 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	佐朝元の 製品/都品/材料の名称	材料グレードNo	全属記号-JIS記 号	メーカー着色Na.	祖厚(mn)	ŧ	@(mn)		依赖元项目2	依赖元项目3	x-tr-8	(予約)(予約)(予約) 目答元の見品/ 部品/材料の書号	国答元の製品/ 都品/材料の名称		回答元項目2	<u> 国答元項目3</u>	・ データ バージョン	BUT H	類査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(詳順) (詳順) 含有総合判定	化学物質 情報入力 hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat	化学物質 デークコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy	た学物質 データ消去 Cier C
) (1995年19月1日) (1995年19月11日) (1995年19月11日) (1995年19月11日) (1995年19月11日) (1995年19月11日) (1995年19月11日) (1995年19月11日) (1995年19月111) (19	依頼元の 製品/都品/材料の名称	材料グレード№	全属記号-JIS記 号	メーカー着色No.	被厚(mm)	ŧ	径(mn)	依赖元项目1	依赖元项目2	- 依赖元项目3	x-t-8	(予約)(円線) 国客元の製品/ 都品/材料の書号	回茶元の製品/ 都品/材料の名称	_ 回答元項目1	回答元項目2	<u> 国格元項目3</u>	- データ バージョン	BUT B	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(詳順) (詳順)	化学物質 作物入力 hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat	化学物質 デークコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy	た学物質 データ消去 Cier C
	製品/都品の番号	佐朝元の 製品/都品/材料の名称	材料グレード№	全國記号-JIS記 号	メーカー着色No.	被厚(mm)	₽	径(mn)		依赖元项目2	-	x-n-8	(外西)(日本司) 国答元の製品/ 都品/材料の番号	田茶元の製品/ 都品/材料の名称	回答元項目1 	回答元項目2	<u> 留茶元項目3</u>	- データ パージョン	¢tTB YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(詳順) 含有総合相定	化学物質 情報入力 huat huat huat huat huat huat huat huat	化学物質 デークコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy	た学物質 デーク消去 Cear C
	(15.5.0) 製品(新品の書号)))))))))))))	住所元の 製品: 御品: 材料の名称	材料グレードNo	全國記号-JIS記号 号	メーカー着色Na	板厚(nn)	đ	문(nn)	_ 依赖元项目1	依赖元项目2	依赖元项目3	y-5-8	(外所)(円用) 国答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 都品/材料の名称	回茶元項目1 	图答元項目2	<u>包茶元項目3</u>	データ パージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査单位質量 (g/調査単位)	(月順) 降順	化学物質 情報入力 bast bast bast bast bast bast bast bast	化学物質 データコピー Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy Copy	化学物質 デーク消去 Car Car Car Car Car Car Car Car Car Car
	(15天の) 製品(初品の書号)))))))))))))		材料グレードNo	全尾紀号·JIS記 号	メーカー着色Na	版厚(mn)	40	ି (nn)	_ 佐照元項目1	体制元項目2	佐藤元項目3	×->->->->->->->->->->->->->->->->->->->	(5-10) (日本司) 国藩元の製品/ 製品/材料の番号	国答元の製品/ 都品/材料の名称	□答元项目1	<u>回答元項目2</u>	<u>冒</u> 茶元項目3	データ バージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	(月間) (時期) 含有総合相定 	化学物質 情報入力 hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat hpat	ピザ物質 データコピー Cary	化学物質 データ済去 Cear

4.2 基本情報の入力(操作方法は両ツール共通です)

依頼元は「製品含有化学物質調査・回答マニュアル」(以降は調査・回答マニュアルと表記し ます)の5ページを参照して、ツール画面の左上に表示される調査依頼元に関する情報を入力し て下さい。



Copyright(C) JGPSSI & NEC Soft, Ltd.

基本情報

整理番号		データフォーマットVer 3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)		
依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名		
DUNSナンバー		
部署名		
担当者名		
電話番号(担当者連絡先)		
FAX番号		
E-MAILアドレス		
依頼元管理項目1		
依頼元管理項目2		
依頼元管理項目3		

【入力例】

整理番号	ABC001	データフォーマットVer 3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2006/01/09	
		_
依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名	***INC.	* * * 株式会社
DUNSナンバー	******9	
部署名	***Dept.	* * *課
担当者名	Taro Irai	依頼太郎
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-2***2	
FAX番号	03-5***-2***3	
E-MAILアドレス	taro@****.cp.jp	
依頼元管理項目1]
依頼元管理項目2]
依頼元管理項目3		

(注) 英語の欄に入力する場合には必ず半角英数文字でデータを入力して下さい。

4.3 調査対象アイテムに関する情報の入力(両ツール共通)

調査・回答マニュアルの6ページと7ページを参照して、画面の基本情報の下にある調査対象 アイテムに関する情報を必要に応じ入力して下さい。ピンク色のセルは入力必須ですが、依頼元 の製品/部品の番号は調査対象アイテムが材料の場合に使用する6項目の全てに入力が無い場合 のみ入力必須です。(下図参照)

注意事項: <JGP ファイルの出力条件>

調査対象アイテムを特定する下記の7項目のピンク色のセルのいずれにも入力がない 場合には、該当する行のデータが JGP ファイルに保存されませんのでご注意下さい。 ただし、下記の7項目の全てに入力が無い場合でも、10ページの5.2②で示す「メー カー名」、「回答元の製品/部品/材料の番号」のどちらかに入力があれば該当する行の データが JGP ファイルに保存されます。

製品·部品·材料情報

	昇順降順	昇順降順									
	依頼元の	依頼元の	++	金属記号·JIS記			4	4 ∀ ()	依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	製品/部品の番号	製品/部品/材料の名称	材料クレートNo.	号	メーカー 着 巴No.	て て て て の の の の の の の の の の の の の の の の	钽	佺(mm)			
1											
2											
3											
4											
5											

【入力例】部品の場合(コンデンサ)

	(昇順) (降順)	(昇順)(降順)									
	依頼元の	依頼元の	Links 180	金属記号・JIS記				(- ()	依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	製品/部品の番号	製品/部品/材料の名称	材料クレードNo.	묵	メーカー着色No.	极厚(mm)	包	径(mm)	仕様書No.		
1	ABC-123	コンデンサA							ABC-1		
2	ABC-124	コンデンサB							ABC-2		
3	ABC-125	コンデンサC							ABC-3		
4											
5											

【入力例】材料の場合(プラスチック材料)

	(昇順) (降順)	(昇順)(降順)									
	依頼元の	依頼元の	الماملية، الأمير	全属記号・川S記			_	(T ())	依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	製品/部品の番号	製品/部品/材料の名称	材料クレードNo.	号	メーカー着色No.	极厚(mm)	色	径(mm)	仕様書No.		
1		ABS	A100-XXX		12345		白				
2											
3											

4.4 JGP ファイルの保存

画面の上部にある〔SAVE JGP〕ボタンをクリックして下さい。 【エラーチェックを実行しますか?】→<u>〔いいえ〕を選んで下さい。</u>

<u>注意事項</u>: 〔はい〕でエラーチェックを実行すると、回答元の情報(入力必須項目)が未入力で あるため、エラーが表示されます。調査依頼用の JGP ファイルを作成する際の SAVE JGP ではエラーチェックは実行しないで下さい。

<u>ただし、4.3の注意事項: <JGP ファイルの出力条件>を確認して下さい。</u>

Microsoft E	xcel 🔣								
エラーチェックを実行しますか?									
	いいえ(<u>N</u>)								

次の画面が出ますので、保存先フォルダを指定し、ファイル名を付けて保存して下さい。各ツ ールごとに jgp1 または jgp2 の拡張子が自動的に付きます。フォーマット 1 (標準型)は jgp1、フ ォーマット 2 (詳細型)は jgp2 です。

下記の画面は調査回答ツール フォーマット1 (標準型)の例です。ファイルの種類は JGP1 ファ イルが自動的に設定されています。

ファイルを保存						? 🔀
保存する場所型:	📄 調査依頼ABC		- () 🖻 🖻	•	
していていていていていていていていていています。 最近使ったファイル	C ABC001 ABC002 ABC003					
じ デスクトップ						
کر جز ۲4 ا						
ער באר באר א						
र् चर्न रूंग्रेन्ग्रेन्ग्रेन्ग्रेन्ग्रेन्ग्र				_		
	ファイル名(<u>N</u>):	調査依頼ABC-001			-	保存⑤
	ファイルの種類(工):	JGP1ファイル(*.jgp1)		1	-	キャンセル

以下の表示が出たら〔OK〕をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



4.5 調査回答ツールの終了

ツールバーから"ファイル" → "終了"、または "閉じる"を選択して下さい。 以下の画面が表示されます。〔**はい**〕を選ぶと、入力データがツールに上書き保存されます。

Micro	soft Excel 🛛 🔀
	'調査回答ツールV300-F1-060106.xls' への変更を保存しますか?
	【UNX】 いいえ(N) キャンセル

4.6 JGP ファイルを調査回答元へ送る(調査依頼)

調査依頼元は基本情報や調査対象アイテムの情報を入力した JGP ファイルを回答元に送って下さい。

(注) 原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

- 5. 回答元による調査回答データ(JGP ファイル)の作成
 - 5.1 調査依頼元からのデータの読み込み (LOAD JGP)
 - ① 調査依頼データの JGP ファイルをご自分のパソコンに保存して下さい。
 - ② 依頼元から受け取った JGP ファイルの種類を確認し調査回答ツールを選んで起動して下さい。

依頼元からの JGP ファイルの拡張子が jgp1 の場合にはフォーマット 1 (標準型) Ver3. XX を、jgp2 の場合はフォーマット 2 (詳細型) V3. XX を選択して下さい。 但し、回答を標準型データとして作成する場合は、jgp2 データをフォーマット 1 (標準型) Ver3. XX で読み込むことが可能です。(本操作マニュアル 21 ページ参照)

(注)本ツールを使用する場合にはマクロのセキュリティーレベルを「中」に設定して下さい。

セキュリティーレベルが「高」に設定されていると下記の警告が出ます。〔**OK**〕のボタンをク リックすると下記の警告は消えますが、本ツールを使用する事はできません。Excelのメニュ ーのツールを選び、マクロのセキュリティーの画面で設定を「中」に変更してから Excel を再起 動し、再度ツールを開いて下さい。

Windows XP の表示例:

Μ	licros	soft Excel
	1	マクロが使用できません。セキュリティ レベルが高に設定されています。また、デジタル署名された信頼された証明書がマクロに添付されていません。マクロを実行す るには、セキュリティ レベルを下げるか、または証明機関が発行する証明書を使用してマクロに署名するよう作成者に依頼するようにしてください。ただし、セキュリ ティ レベルを下げるのは推奨しません。 ヘルプの非表示(E) 〈〈 ヘルプ ウィンドウで開く(Q)
	次の理由 1.	 aにより、このエラーが発生する可能性があります: マクロのセキュリティが以下のように設定されている場合: 「最高」に設定されてわり、署名付きマクロであるが自動的に無効になる場合、次の手順でマクロを有効にできます: 「ツール」メニューの「マクロ] - 「セキュリティ」をクリックします。「セキュリティ」ダイアログの「セキュリティレベル」タブでセキュリティレベルを[高] に設定します。 ファイルと現在実行中の他のアプリケーションのインスタンスを開じます(実行しているすべてのアプリケーションも開じます)。 再度ファイルを開き、証明書の詳細を確認します。発行者からの証明書を信頼する場合は、にの発行者のマクロを常に信頼する] チェック ボック マ
		OK

下記の表示が出たら、〔マクロを有効にする〕をクリックして下さい。

セキュリティ警告 🛛 🔀
[≪] C:¥Documents and Settings¥A-TAJIMA¥デスクトップ¥田島フォルダ¥5システム WG¥060106_V3.00ツール(日本語)¥調査回答ツールV300-F1-060106.xls [∞] (はマクロを 含んでいます。
マクロにはウイルスが含まれている場合があります。通常、マクロを無効にすると安全です が、マクロが適正な場合、機能が使えなくなります。
<u>マクロを舞劾にする(D)</u> マクロを有効にする(E) 詳細(M)

以下の画面が表示されます。フォーマット1(標準型)の例

!	プリーン調達 調査目 フォーマ 基本情報	国答ツール 『ット1 (標準型) Vei	323		Copyright(C) JGPSS	I & NEC Soft, Ltd.		OAD JGP	ADD JGP	SAVE JGF		変更 [17	-Ŧ199 [I	5—碓認 (1)	に替え	都品一覧印刷	1								
	SARE Example 1023-55 17-572-77-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-																								
	デ順 降順	用原 降順	1									開開開	昇順 降順]								昇順 降順			
No.	依頼元の 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	全属記号+JIS記 号	メーカー着色No.	板厚(mm)	龟	径(mm)	依赖元項目1	依赖元項目2	依赖元项目3	メーカー名	回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データ バージョン	改訂日 YYYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 備報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
1																						1	input	Сару	Clear
2																							Input	Сару	Clear Clear
4																							Input	Capy	Clear
5																						1	input	Сару	Clear
- 6																							Input	Сару	Clear Clear
8																							Input	Capy	Clear
9																							Input	Сару	Clear
10										I											I		input Invut	Сару	Clear Clear
12						1		1	1	1		-			1						1		input	Capy	Clear
13																							input	Сору	Clear
14																							Input	Сару	Clear
16	-			<u> </u>	l					l		I										-	input	uay	utar
																							input	Copy .	Clear .

③ この画面の上部にある〔LOAD JGP〕ボタンをクリックして下さい。下記の画面が出ます。 下記の画面は調査回答ツール フォーマット1(標準型)を使用している場合です。 ファイルの種類は JGP1 ファイルが自動的に設定されています。

(旧フォーマットデータを読み込む場合にはファイルの種類を JGP ファイルに変更して下さい。)

ファイルを開く	? 🔀
ファイルの場所型:	🔁 ABC001 🗾 🗢 🖻 📸 🖽 -
した。 最近使ったファイル	ABC001-01.jep1 ABC001-02.jep1 ABC001-03.jep1 ABC001-03.jep1
ごう デスクトップ	
ک ۲۲ ۲¥ء ک	
ער דארב אר	
マイ ネットワーク	ファイル名(N): ABC001-01 ien1 ▼ 開(②)
	ファイルの種類(①): JGP1ファイル(*.jgp1) ・ キャンセル
	▶ 読み取り専用ファイルとして聞く(風)

下記の画面は調査回答ツール フォーマット2(詳細型)を使用している場合です。 ファイルの種類は JGP2 ファイルが自動的に設定されています。

(旧フォーマットデータを読み込む場合にはファイルの種類を JGP ファイルに変更して下さい。)

ファイルを開く		\times
ファイルの場所型:	🔁 ABC002 💌 🗢 🖻 📸 📰 -	
して 最近使ったファイル	ABC002-22.jsp2 ABC002-23.jsp2 ABC002-24.jsp2	
デスクトップ		
אין אין דין אין		
₹1 <u>1</u>)ピュータ		
S. 199		
マイ ネットワーク	ファイル名(N): ▲BC002-22 jgp2 ▼ 開(((0)	
	ファイルの種類(T): JGP2ファイル(*,jgp2) ・ キャンセル	
	▶ 読み取り専用ファイルとして開く(円)	

JGPSSI Ver3 調査回答ツール操作マニュアル 2007.12.18 第4版

次に読み込む JGP ファイルを指定し〔開く〕をクリックして下さい。 調査依頼データが調査回答ツールに読み込まれ、以下の表示が出ますので〔**OK**〕をクリック して下さい。



下図の様に依頼元に関する情報、調査依頼対象アイテムの情報が読み込まれます。

この画面はフォーマット1(標準型)、フォーマット2(詳細型)共に各項目の表示内容は同じです。

グリーン調達 調査回答ツール フォーマット1(標準型)	Ver3.34	Copyright(C) JGPSSI & NEC Soft, Ltd.	
基本情報			
整理番号	ABC001	データフォーマットVer 3.21	
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2006/01/09		
依頼元に関する情報	英語	日本語	
会社名	***INC.	* * * 株式会社	
DUNSナンバー	******9		
部署名	***Dept.	* * * 課	
担当者名	Taro Irai	依頼太郎	
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-2***2		
FAX番号	03-5***-2***3		
E-MAILアドレス	taro@****.cp.jp		
依頼元管理項目1			
依頼元管理項目2			
依頼元管理項目3			

製品·部品·材料情報

	昇順降順	昇順降順					
No.	依頼元の 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・JIS記 号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色
1	ABC-123-001	大型スイッチユニット					
2							
3							
4							

- 5.2 回答元が入力する項目(基本情報、調査アイテム情報など)
 - ① 回答元に関する情報の入力(ピンク色のセルは入力必須項目です。)

会社名など回答元に関する情報を入力して下さい。(調査・回答マニュアルの6ページ参照) 【入力例】 **回答元記入日(YYYY/MM/DD)**

		-
回答元に関する情報	英語	日本語
会社名		XXX商事
DUNSナンバー		
住所		東京都港区〇〇〇
部署名		###課
記入者名		XXX次郎
電話番号	03-1***-9***3	
FAX番号	03-1***-9***3	
E-MAILアドレス	jiro@XXX.co.jp	
依頼元管理項目4		
依頼元管理項目5]
依頼元管理項目6		

(注)・英語の欄に入力する場合には必ず半角でデータを入力して下さい。

・依頼元管理項目は原則依頼元が入力する項目です。入力データがある場合は変更しないで下さい。

② 回答元のメーカー名、番号、名称を入力して下さい。(調査・回答マニュアルの7ページ参照) (回答元項目 1, 2, 3 は回答元のメモとして使用できます。)

【入力例】

	メーカー名	回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3
0	〇電気	abc-123	スイッチユニット			

- ③ データバージョン、改訂日を入力して下さい。データバージョンに該当する情報がない場合、 これらは未入力で結構です。
- ④ 調査単位を選択し、単位あたりの総質量を入力して下さい。
 - ・プルダウンメニューから調査単位を選択して下さい。
 - ·設定された調査単位当たりの総質量をgで入力して下さい。
 - (例) 調査単位が個の場合 → 調査対象アイテム1個あたりの質量
 調査単位が kg の場合→ 1kg あたりの質量 = 1000g

【入力例】

	データ バージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定
			個	2500.000	
ĺ					

(注)「含有総合判定」は自動表示されます。手入力する項目ではありません。

5.3 含有化学物質情報の入力

基本情報画面にて、入力したい調査対象アイテムの行の〔Input〕ボタンをクリックし、 化学物質情報の入力画面に移って下さい。(下図参照)

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
個	2500.000		Input	Сору	Clear
			Input	Сору	Clear

- (注) [Input]をクリックすると以下のワーニング表示が出る場合があります。 (調査対象アイテムを特定する情報が何も入力されていない場合です。)
 - [OK]をクリックすると化学物質情報の入力画面に移ります。

Warni	ng 🔀
1	メーカー名、 回答元の製品/部品/材料の番号、 依頼元の製品/部品の番号、 材料グレードNo.、 金属記号・JIS記号、 メーカー着色No.、 板厚(mm)、 色、 径(mm) が、何れも入力されていません

JGPSSI Ver3 調査回答ツール操作マニュアル 2007.12.18 第4版

5.3.1 調査回答ツール フォーマット1 (標準型)の場合の含有化学物質情報入力

下図の様に画面上部には前画面の基本情報や調査アイテムの情報が自動的に表示されます。

<u>84</u>	二字 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	714111													_	
	整理番号	データフ:	オーマットVer	回答元記入	.日				(ок)	CA	NCEL	(エラーチェ:	ック] [エラー確認	2) (3	印刷
ABC0	01		3.21	2005/12/25					\square							
699	依頼元の 品/部品の番号	依頼 部品/	元の製品/ 材料の名称	材料グレート	No.	金属記号・ JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	依頼元項目	1 依頼元項	[目2 依朝	順元項目3		
ABC-	23-001	大型スイッ	チユニット													
	メーカー名	回答: 部品/4	元の製品/ 材料の番号	回答元の製 部品/材料の	品/ 名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データ バージョン	改訂日 YYYY/MM/DI	調査単位	調査単位 (g/調査』	質量 単位)			
001	贡	abc-123		スイッチユニット	`						個	250	00.000			
有化学	物質情報		—括N)											1	~~
物質群 分類 No.	物質群		関値レベルによる 含有利定 (Y:含有、N:非含	5 総含有量 (mg)			使用用 (該当項目の右セル!	途分類 こチェックしてください)		(*:該当月	途) 使用用;	金·目的	使用部	位	最大均質材 料 含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項
A05	カドミウム/カドミウム化合	:物			Cd-J-99 : Cd-J-0 : Cd-R-0 : Cd-R-1 : Cd-R-2 : Cd-R-3 : Cd-E-1 : Cd-E-2 : Cd-E-3 : Cd-E-3 : Cd-R-98 : Cd-	1750mを超えるカドミウムを含む:不純物、/1サイクル料料/コンタミネーション 1750mを超えるカドミウムを含む:不純物、/1サイクル料料/コンタミネーション 1750mを超えるカドミウムを含むその他の用途(本福に詳細記入) 180 世帯の/10%1250の定は新客約/1358150に高づき加えされた用意を除く電気接点とかっき 1条がうた、12×10~15 1条がうた、12×10~15 1条がうた、12×10~15 1第三人・スト 電気自動集めバッテリー 1番(転換整置)で使用されるプラス条材中の元学部品(カメラ等) 150mmに下のたけまちりまたまむ:7年時用/19イサイクル材料/コンタミネーション										
A07	六価クロム/六価クロム化	:合物			Cr-J-99 :1 Cr-R-0 :1 Cr-R-1 :1 Cr-R-2 :1 Cr-E-1 :1 Cr-E-1 :1 Cr-E-2 :1 Cr-E-3 :2 Cr-R-98 :1	1000ppnを起える。 1000ppn以下の64 吸収型冷蔵庫中の 指令2002/96/ECの 「無塗装金属板お 「電磁波」シールド 防錆コーティング 車体部ボルトナッ キャラパン車の(t	6価クロムを含む:不不 6価クロムを含むその 簡クロムを含むその 地 かテゴリ3に属する数 に含まれる大価クロム で「下記0r-2以外) r・細立て関係の防調コ 薬券・溶慮 面の のロムを含む:不純料	2時/1サイクル材料 些の用途(本石欄に詳細) の用途(本石欄に詳細) 印システムの防頓用 曲(ITおよび通信取構 上のための防食表面処 ーティング あ//リサイクル材料/	/コンタミネーション 記入)) のうち、 星」および まて認められる。 コンタミネーション							

各物質群の「閾値レベルによる含有判定」の欄をクリックするとプルダウンメニューが現れます。必ずYまたはNを選択して下さい。
 Y及びNは大文字もしくは小文字での直接入力も出来ます。

Y/Nの判定は調査・回答マニュアルの13ページの含有判定フローを参照して下さい。

- (注)1 含有判定の基準はレベルA、レベルBで異なりますのでご注意下さい。
- (注)2 含有判定がYの場合、②以降の項目についてご回答下さい。(一部任意)
- (注)3 含有判定がNの場合であっても、含有を把握している場合には総含有量、使用用 途分類などのご回答をお願いします。

[一括N] ボタンの機能について:

有化学	<u>物質情報</u>		
物質群 分類 No.	物質群	閾値レベルによる 含有判定 (Y:含有、N:非含有)	総含有量 (mg)

- ・24 物質群の全ての含有判定が空欄の場合に一括Nボタンをクリックすると、24 物質群す べての含有判定にNが自動入力されます。
- ・24物質群のどれか1つに既にYが入力されている場合に一括Nボタンをクリックすると、
 以下のワーニング表示が出ます。

Warning 🛛 🔛
Yが入力されている物質群があります。 Y以外の物質群のみにNを入力しますか?
Y以外一括N 一括N(上書き)
<u>(はいの)</u> いいえの

- [はい]をクリックすると、既にYが入力されている物質群以外の物質群の含有判定に Nが自動入力されます。「Y以外一括N」
- [いいえ]をクリックすると、既にYが入力されている物質群も含めて全ての物質群の 含有判定にNが入力されます。「一括N(上書き)」
- ② 前の画面の「調査単位」で設定された単位当たりに含有している化学物質の総含有量(mg)を有 効数字2桁(3桁目は四捨五入)で入力して下さい。総含有量については小数点第3位まで しか表示されませんが、正しい総含有量を入力して下さい。 (含有判定がYの場合はレベルA、B共に入力必須です。)

		〔表示〕
(例)	2549mg の場合:2500mg	2500.000
	1.1456mg の場合:1.1mg	1.100
	0.00214mgの場合:0.0021mg	0.002
	0.1mg の場合:0.1mg	0. 100

- ・入力する値は把握している含有量の最大値とします。
- ・金属化合物の含有量は、含有する化合物の量ではなく、化合物の中に含まれる金属元素量に換算した数値を入力して下さい。

(調査・回答マニュアルの別紙5. JIG 例示物質リストの金属換算係数参照) 【入力例】

•	/	`	/	5	v	л	

物質群 分類 No.	物質群	閾値レベルによる 含有判定 (Y:含有、N:非含有)	総含有量 (mg)
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	490.000

- ③ 各物質群ごとに表示されている使用用途分類から該当する項目を選んで下さい。
 - ・各項目の右の該当用途欄の"□"の右をクリックするとチェックマークが表示されます。 (含有判定Yの場合は入力必須です。)下図の入力例参照
 - ・調査対象アイテムの含有で該当する全ての使用用途分類を選択し、チェックマークを表示させて下さい。画面に表示される使用用途分類の内容は、調査・回答マニュアル(第4版)の別紙2、別紙3の使用用途分類リストと同じです。各項目はコード化され、意味付けされています。

このコードの中間のアルファベットの R は RoHS 指令、E は ELV 指令、RE は両指令に関連 する項目である事を意味しています。

尚、該当する詳細な使用用途がリストにない場合には、Cd-J-0 などの"その他の用途"を 選び、その趣旨を「含有化学物質に関する追記事項」に記入して下さい。

P. 13

【入力例】

	使用用途分類 (該当項目の右セルにチェックしてください)	(*:該当用途)
Cd-J-99	:75ppmを超えるカドミウムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	
Cd-J-0	:75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	 Image: A start of the start of
Cd-R-0	:75ppm以下のカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	
Cd-R-1	: E U 指令76/769/EECの改正指令91/338/EECに基づき禁止された用途を除く電気接点とめっき	
Cd-R-2	∶光学ガラス、フィルターガラス	
Cd-R-3	∶ホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキに含まれるカドミウム	
Cd-E-1	:厚膜ペースト	
Cd-E-2	:電気自動車のバッテリー	
Cd-E-3	:運転補助装置に使用されるガラス基材中の光学部品(カメラ等)	
Cd-RE-98	:75ppm以下のカドミウムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	

④ 使用用途・目的、使用部位、最大均質材料含有率、追記事項の入力

・使用用途・目的にはその化学物質を使用した意図を簡単に記載して下さい。 例1)安定剤、可塑剤、着色剤、難燃剤、防錆、はんだ成分等 例2)主成分、熱安定性向上、電気特性向上、機械特性向上等

・使用部位とは部品の構成単位の中で調査対象化学物質を含有している部位のことです。
 使用部位の名称は仕様書、図面に記載されている名称、調達先での呼び方、一般的な名称
 を記載して下さい。また、同一化学物質が複数の部位に含有されている場合には、主要な使用部位を記載し、末尾に「等」と記入下さい。
 (調査・回答マニュアルの9ページ、10ページおよび別紙4、部位の例を参照して下さい。)

 (注) 使用用途分類にチェックマークを付けた項目は使用用途・目的および使用部位の記載 が必須です。
 び必須です。
 又、各項目に入力できる文字数の制限は 80 Byte までです。
 (全角で 40 文字まで)

・最大含有均質材料含有率(ppm)の入力 <u>(レベルAは入力必須項目です。)</u>

レベルA、B共に、含有化学物質の含有部位の均質材料(homogeneous material)に対して の含有率(ppm)を入力して下さい。複数部位に同一の使用用途分類がある場合には最大値を 入力して下さい。

・含有化学物質に関する追加の情報があれば、追記事項の欄に記載して下さい。

入力できる文字数の制限は 80 Byte までです。(全角で 40 文字まで)

【入力例】

使用用途·目的	使用部位	最大均質材 料 含有率 _(ppm)	含有化学物質に関する追記事項
黄銅中の不純物/安定剤不純物	スイッチ端子/樹脂フレーム	104	
安定化/耐蝕表面処理	接点/フレーム表面めっき部	152	
			黄銅についてはRoHS基準(100ppm)以下にコン
			トロール/閾値以下へのコントロールを検討中

(注) 24 物質群全てについて上記までの必要事項の入力が完了したら、次は 18 ページの 「5.4 エラーチェックの実行」に進んで下さい。

5.3.2 調査回答ツール フォーマット2 (詳細型)の場合の含有化学物質情報入力

下図の様に前の画面の基本情報や調査アイテムの情報が自動的に表示されます。

Image: state Image: state<	盖	卜情的	/製品·部品·材料情報		_				·	_			\neg $-$					
12:0 12:0 <th< td=""><td></td><td>整</td><td>理番号 データフォーマットVer</td><td>回答元記入日</td><td></td><td></td><td></td><td>ок</td><td>CANCEL</td><td></td><td>エラーチェック</td><td>エラー確認</td><td></td><td>印刷</td><td></td><td></td><td></td><td></td></th<>		整	理番号 データフォーマットVer	回答元記入日				ок	CANCEL		エラーチェック	エラー確認		印刷				
Normal sector Normal			3.21															
Image: Province of the section of the sectin of the section of the sectin		依頼: 部品	たの製品/ 依頼元の製品/ の番号 部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・ JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	依(mm)	:頼元項目1	依頼元項目2	依赖元项目3						
Image: book with the second of the																		
Image: Constraint of the set of					回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3											
		_لا	·カー名 回合元の製品/ 部品/材料の番号	回合元の製品/ 部品/材料の名称				テーダ バージョン	TYYY/MM/DD 8	調査単位	調查単位資重 (g/調査単位)							
State I																2	「東有井中の里」	
Image: state Image: state<																-	+	
Normal	\$ 2	自化学	物堂情報	—括N														
Normal Normal<	-				1													
No. A	レベー	物質群分類	物質群	間値レベルによる 含有利定 (Y:含有、N:非含	追加	削除	含有量 (mg)		(該:	使用用 :当項目をチェ	途分類 ックしてください)			(*:該当用途)	使用用途·目的	使用部位	均質材料 含有率	含有化学物質に関する追記事項
No No<	10	NO.		有)	18.40	\square											(ppm)	
And Radin And Spin And Spin And And<		A05	カドミウム/カドミウム化合物		追加	4												
And Buschele Buschele </td <td></td> <td>A07</td> <td>六価クロム/六価クロム化合物</td> <td></td> <td>追加</td> <td></td>		A07	六価クロム/六価クロム化合物		追加													
All Rel:Processing and set of the se		A09	鉛/鉛化合物		追加													
Note Name Name Note Name Not			ナ相/ナ相ル会物		28 HD													
Normalized regionalized regionalinder regionalized regionalized regionalized regional		A10	小奴/小奴に口切		38.40	ł		-										
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$		7417	NUブチルスズ(TBT) あ76		AE 104	1												
No. No. <td></td> <td>A18</td> <td>トリフェニルスズ(TPT)</td> <td></td> <td>追加</td> <td></td>		A18	トリフェニルスズ(TPT)		追加													
Note	<u>^</u>	B02	ポリ臭化ビフェニール類(PBB類)		追加]												
Image: Product state (Product state) ····································		B03	ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類		追加	1												
No. No. <td></td> <td>B05</td> <td>ポリ塩化ビフェニル類(PCB類)</td> <td></td> <td>追加</td> <td>1</td> <td></td>		B05	ポリ塩化ビフェニル類(PCB類)		追加	1												
$ \begin{bmatrix} 0 & [20] [20] [20] [20] [20] [20] [20] [20]$		B06	ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)		追加													
Display Display <t< td=""><td></td><td>B09</td><td>短額型塩化バラフィン(炭素数10~13)</td><td></td><td>追加</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>		B09	短額型塩化バラフィン(炭素数10~13)		追加	1												
$ \begin{array}{ c c c c c c } \hline 100 \ 1 \ 100 \ 1 \ 100 \ 1 \ 100 \ 1 \ 1$		C01	アスペスト類		追加													
0x 1x2/s dt status 1x3		C02	一部のアゾ染料・颜料		追加	-												
00 9411 94711 9471 9471		C04	オゾン層破壊物質		追加													
Aci Description Solution <		C06	放射性物質		追加]												
Aux Call Call <thc< td=""><td></td><td>A01</td><td>アンチモン/アンチモン化合物</td><td></td><td>追加</td><td>]</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></thc<>		A01	アンチモン/アンチモン化合物		追加]												
Au CAU CAU <thcau< th=""> CAU <thcau< th=""> <thcau< th=""> <thcau< th=""></thcau<></thcau<></thcau<></thcau<>		A02	ヒ素/ヒ素化合物		追加]												
AL CATAL CA		A03	ペリリウム/ペリリウム化合物		追加													
0 1 2>/VL 2>/VL 3/M 2 3/M		A04	ビスマス/ビスマス化合物		追加													
A13 世ンパセンを告告 通用 日 00 世紀パセンを出したの(***) 道加	в	A11	ニッケル		追加													
IDD: RVHRUEC=L/(VOX) IAID 00 ##X##M IAID IAID 00 ##XFAREAL IAID IAID 00 #IAID IAID IAID		A13	セレン/セレン化合物		追加	4												
1000 現典教授所 通知 通知 005 新知分別和広ス市人 通知		B07	ボリ塩化ビニル(PVC)		追加	4												
005 一部のフタル 被エステル 進加		B08	吴素糸雞燃剤		遥加	4												
		C05	一部のフタル酸エステル		遥加	1	I											

- 各物質群の「閾値レベルによる含有判定」の欄をクリックするとプルダウンメニューが現れます。必ずYまたはNを選択して下さい。(24 物質群の全てに入力必須です。) Y及びNは大文字もしくは小文字での直接入力も出来ます。 Y/Nの判定は調査・回答マニュアルの13ページの含有判定フローを参照して下さい。
 - (注)1 含有判定の基準はレベルA、レベルBで異なりますのでご注意下さい。
 - (注)2 含有判定がYの場合は、②以下の各項目にご回答下さい。
 - (注)3 含有判定がNの場合であっても、含有を把握している場合には含有量、使用用途分類な どのご回答をお願いします。
 - (注)4 レベルA、レベルB共に同一化学物質群の含有が複数部位に亘る場合は〔追加〕ボタン をクリックして含有化学物質情報を入力する行を追加し、部位ごとに回答して下さい。 〔追加〕ボタンを押すごとに1行ずつ追加されます。
 - (注)5 既に入力したデータを削除する場合は、データ削除したい行の〔削除〕欄をクリックするとプルダウンメニューが現れるのでVを選択して下さい。削除したい行すべてにVを表示した状態で〔削除〕ボタンをクリックすると、選択された行のすべてのデータが削除されます。追加行は行自体が削除されます。(下図参照)

物質群 分類 No.	物質群	閾値レベルによる 含有判定 (Y:含有、N:非含 有)		追加	削除	含有量 (mg)
				追加		
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y			v	
			_		v	
A07	六価クロム/六価クロム化合物	Ν		追加		
A09	鉛/鉛化合物	Y		追加		
A10	水銀/水銀化合物	N		追加		

追加できる行数は24物質群で合計50行までです。50行を超えて追加すると以下の表示 が出ます。この場合、詳細型ツールでの回答は不可能となりますので、この先の対応方法 については調査依頼元へご確認下さい。

Microsoft Excel 🔀
追加行が50を超えます。
OK

[一括N] ボタンの機能について:

含有化学物質情報						
レベル	物質群 分類 No.	物質群	閾値レベルによる 含有判定 (Y:含有、N:非含 有)	追加	削除	含有量 (mg)

- ・24 物質群の全ての含有判定が空欄の場合に一括Nボタンをクリックすると、24 物質群すべての含有判定にNが自動入力されます。
- ・24 物質群のどれか1つに既にYが入力されている場合に一括Nボタンをクリックすると、 以下のワーニング表示が出ます。

Warning 🛛 🛛	
Yが入力されている物質群があります。 Y以外の物質群のみにNを入力しますか?	
Y以外一括N 一括N(上書き)	
<u>(まいで)</u> いいえ(N)	

- [はい]をクリックすると、既にYが入力されている物質群以外の物質群の含有判定に Nが自動入力されます。「Y以外一括N」
- [いいえ]をクリックすると、既にYが入力されている物質群も含めて全ての物質群の 含有判定にNが入力されます。「一括N(上書き)」
- ② 前の画面の「調査単位」で設定された単位当たりに含有している化学物質の<u>部位毎の含有量を</u> mg単位で、有効数字2桁(3桁目は四捨五入)で入力して下さい。含有量については小数点 第3位までしか表示されませんが、正しい含有量を入力して下さい。 (含有判定がYの場合はレベルA、B共に入力必須です。)

		〔表示〕
(例)	2549mg の場合:2500mg	2500.000
	1.1456mg の場合:1.1mg	1. 100
	0.00214mgの場合:0.0021mg	0.002
	0.1mg の場合:0.1mg	0. 100

- ・入力する値は把握している含有量の最大値とします。
- ・金属化合物の含有量は、含有する化合物の量ではなく、化合物の中に含まれる金属元素量に 換算した数値を入力して下さい。
 - (調査・回答マニュアルの別紙5. JIG 例示物質リストの金属換算係数参照)
- ③ 部位毎の含有量を入力した右の「使用用途分類」のセルを(ダブル)クリックすると使用用途分類のプルダウンリストが表示されますので、該当する項目を選んで下さい。「該当用途」欄に*マークが表示されます。(含有判定Yの場合は入力必須です。)
 - ・調査対象アイテムの含有で該当する全ての使用用途分類を選択し、*マークを表示させて下

さい。画面に表示される使用用途分類の内容は、調査・回答マニュアル(第4版)の別紙2、 別紙3の使用用途分類リストと同じです。各項目はコード化され、意味付けされています。

このコードの中間のアルファベットの R は RoHS 指令、E は ELV 指令、RE は両指令に関連す る項目である事を意味しています。

尚、該当する詳細な使用用途がリストにない場合には、Cd-J-0 などの"その他の用途"を 選び、その趣旨を「含有化学物質に関する追記事項」に記入して下さい。

物質群 分類 No.	物質群	 閾値レベルによる 含有判定 (Y:含有、N:非含 有) 	追加	削除	含有量 (mg)	使用用途分類 (該当項目をチェックしてください)	(*:該当用途)
			追加	1	15.000	Cd-J-99 :75ppmを超えるカドミウムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	*
405	カドミウムノカドミウム化合物	v			150.000	Cd-J-99 :75ppmを超えるカドミウムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	*
A03					24.000	Cd-J-0 :75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	*
					300.000	Cd-J-0 :75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	*
A07	六価クロム/六価クロム化合物	Ν	追加			Cr-RE-98:1000ppm以下の6価クロムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	*
A09	鉛/鉛化合物	Y	追加		700.000	Pb-R-2 :高融点はんだ(85wt%を超える鉛を含む鉛合金)	*
A10	水銀/水銀化合物	N	追加)			
A17	酸化トリブチルスズ (TBTO)	N	追加)			
A18	トリブチルスズ (TBT) 及び トリフェニルスズ (TPT)	N	追加				
B02	ポリ臭化ビフェニール類(PBB類)	N	追加				

【入力例】 行が追加されています。

- ④ 使用用途・目的、使用部位、含有率、追記事項の入力
 - ・使用用途・目的にはその化学物質を使用した意図を簡単に記載して下さい。
 - 例1) 安定剤、可塑剤、着色剤、難燃剤、防錆、はんだ成分等
 - 例 2) 主成分、熱安定性向上、電気特性向上、機械特性向上等
 - ・使用部位とは部品の構成単位に中で調査対象化学物質を含有している部位のことです。
 使用部位の名称は仕様書、図面に記載されている名称、調達先での呼び方、一般的な名称
 を記載して下さい。
 調査・回答マニュアルの9ページ、10ページおよび別紙4. 部位の例を参照して下さい。
 - (注)部位は均質材料が分る様に記入して下さい。
 - (注) 使用用途分類の内容が表示され*マークが付いた項目は使用用途・目的および使用
 <u>部位の記載が必須です。</u>
 又、各項目に入力できる文字数の制限は80 Byte までです。
 (全角では40 文字まで)
 - ・含有率(ppm)の入力 (レベルAは入力必須です。)
 レベルA、B共に、含有化学物質の含有部位の均質材料(homogeneous material)に対しての含有率(ppm)を入力して下さい。

・含有化学物質に関する追加の情報があれば、追記事項の欄に記載して下さい。

入力できる文字数の制限は 80 Byte までです。(全角では 40 文字まで) (注)文字数がセルの幅を超えると右側にはみ出して表示されます。

【入力例】

(*:該当用途)	使用用途·目的	使用部位	均質材料 含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項
*	黄銅中の不純物	スイッチ端子	90	RoHS基準以下にコントロール
*	安定剤不純物	樹脂ケース	104	閾値以下へのコントロール検討中
*	安定化	接点	152	閾値以下へのコントロール検討中
*	耐蝕表面処理	フレーム表面めっき部	85	閾値以下へのコントロール検討中
*	金属表面処理の不純物	筐体	30	報告の義務はありませんが、把握してい
*	接合用	部品内部	850000	

5.4 エラーチェックの実行 (操作方法は両ツール共通です。)

24 物質群全てについて必要事項の入力が終了したら画面の上部にある [OK] ボタンをクリック して下さい。以下の図の様にエラーチェックを実行するかどうかの質問があります。 [はい]をクリックするとエラーチェックが実行されます。[いいえ] をクリックするとエラー チェックなしで前頁に戻ります。(最終回答作成の場合は必ず〔はい〕で実行して下さい。)

	Microsoft Excel
エラーチェックを実行しますか? 「いいえ」を押すとエラーチェックなしで前頁に戻ります	

・エラーがあると、上図の様に「エラーがありました」が表示されます。

- ・〔**OK**〕をクリックするとエラーチェックを実行した結果の、エラーまたはワーニングの内容 が表示されます。 以下はエラーチェックの結果の表示例です。
- ・〔**戻る**〕のボタンをクリックすると元画面に戻ります。エラー(Error)の内容を修正して再度 エラーチェックを実行して下さい。

[Error No.1006](A05/Cd-J-0/使用用途・目的)入力必須項目が空欄となっています。	
[Error No.1006](A05/Cd-J-0/使用部位)入力必須項目が空欄となっています。	EA
[Warning No.2001](A07)[含有判定]が'N'、[使用用途分類]が選択されている項目の[総含有量]が未入力です。	
[Error No.1010](A10)[含有判定]に'Y'か'N'を入力してください。	
[Error No.1000](A01/含有化学物質に関する追記事項)文字列が長すぎます。80byte以下で入力してください。	

- ・エラーチェックの結果、エラー (Error) およびワーニング (Warning) が何も検出されなかった 場合は基本情報の画面に戻ります。
- ・エラーチェックの結果でワーニング(Warning)のみが検出された場合は以下の表示が出ます。 〔はい〕をクリックするとワーニング内容を表示し、〔いいえ〕をクリックすると基本情報の 画面に戻ります。

Microsoft Ex	cel 🔣
ワーニングがありまし	た。確認しますか?
((tro	いいえ(<u>N</u>)

5.5 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存 (SAVE JGP)

(操作方法は両ツール共通です。)

 化学物資含有情報の画面のエラーチェックの結果で問題がなければ基本情報の画面に戻り、 「含有総合判定」の欄にYまたはNが自動的に表示されます。

調査対象アイテムについて、24物質群の含有判定でYが1つ以上あれば含有総合判定はY が自動表示されます。24物質群全ての含有判定がNの場合のみ含有総合判定にNが表示され ます。(下図表示例参照) (注)含有総合判定はエラーチェックの対象項目です。

	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
ſ	個	2500.000	N	Input	Сору	Clear
ſ				Input	Сору	Clear
ĺ				Input	Сору	Clear

② 回答元に関する情報の一番下にある「回答に関する追加情報」に、必要であれば回答全般に関するコメントなどを入力して下さい。(下図の画面表示例参照) 200 Byte まで入力できます。(全角では 100 文字まで)

LOAD JGP ADD JGP	SAVE JGP 見出し	変更 エラーチェック エラ	一確認 並べ替え
回答元記入日(YYYY/MM/DD)	2006/02/12	1	_
回答元に関する情報	英語	日本語	
会社名		ABC製作所	
DUNSナンバー			-
住所		東京都豊島区OO町XX丁目	
部署名		グリーンXX課	
記入者名		OO太郎	
電話番号	03-22XX-04XX		
FAX番号			
E-MAILアドレス	XX-taro@abc.co.jp		
依頼元管理項目4]	
依頼元管理項目5]	
依頼元管理項目6			
回答に関する追加情報(英語)			
回答に関する追加情報(日本語)	調査依頼いただきましたアイテムは	0000に対応検討中です。	

③ 回答元記入日が入力されているか確認して下さい。入力必須項目です。(上図参照) 入力データが正しくない場合には下記が表示されますので〔再試行〕をクリックし入力デ ータを訂正して下さい。



④ 画面上部の〔SAVE JGP〕ボタンをクリックすると、エラーチェックするかの表示が出ますので〔はい〕をクリックして下さい。(下図参照)

このエラーチェックでは基本情報、製品・部品・材料情報および化学物質含有情報の両画 面のチェックを行います。

Microsoft E	xcel 🔣			
エラーチェックを実行しますか?				
	いいえ(<u>N</u>)			

- <u>注意事項:エラーチェックを実行しないで SAVE JGP を行う場合には、JGP ファイルの出力条件</u> <u>を確認して下さい。詳しくは6ページの4.3の注意事項を参照。</u>
- ⑤ エラーチェックで問題がなければ保存するファイルを指定する画面が出ます。(下図参照) (エラーがあった場合にはエラー内容を修正して、再び〔SAVE JGP〕をクリックして下さい。)
 - ・保存する場所でフォルダを選び、ファイル名に保存するファイルの名称を入力し、〔保存〕 をクリックして下さい。(下図例参照)

ファイルを保存		? 🗙
保存する場所①:	C ABC001 - C C C C C C C C C C C C C C C C C C	
していたつアイル	ABC001-01.jgp1 ABC001-02.jgp1 ABC001-03.jgp1 ABC001-03.jgp1	
ごうしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしゅう デスシン ひんしゅう ひんしゅ ひんしゅう ひんしゅ ひんしゅう ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ		
ک ۲۲ ドキュメント		
マイ ネットワーク		
	ファイル名(N): ABC001-01回答 「 ファイルの種類(T): JGP1ファイル(*,jgp1) チャークション	辞(S) トレンセル

(注) 上図の様にファイルの種類は、フォーマット1 (標準型)では JGP1 が自動的に設定 されます。フォーマット2 (詳細型)では JGP2 が自動的に設定されます。

下図が表示されたら〔OK〕をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。

Microsoft Excel 🔀
SAVE JGP が完了しました。
OK

5.6 調査回答ツールの終了

ツールバーから"ファイル" → "終了"、または "閉じる"を選択して下さい。 以下の画面が表示されたら、必要に応じて〔**はい**〕もしくは〔**いいえ**〕をクリックして下さい。

Microsoft Excel				
⚠	'調査回答ツールV300-F1-060106.xls' への変更を保存しますか?			
	(はい()) いいえ()) キャンセル			

5.7 JGP ファイルを依頼元へ送る

回答データが入力された JGP ファイルを電子メール等を用いて依頼元へ送ります。

(注) 原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

- 6. フォーマット2(詳細型)からフォーマット1(標準型)へのデータコンバート
 - 6.1 データコンバート(詳細型⇒標準型)方法

(詳細型) JGP2 ファイルのデータを(標準型) JGP1 ファイルヘデータコンバートするために はフォーマット1(標準型)ツールで JGP2 ファイルを読み込みます。この場合には [LOAD JGP] の際のファイルの種類を JGP2 に設定し JGP2 ファイルを読み込んで下さい。

[LOAD JGP] をクリックすると下図の「ファイルを開く」の画面が表示されます。 ファイルの種類で JGP2 ファイルを選択します。次にフォルダから拡張子 jgp2 のファイルを選 択し〔**開く**〕をクリックして下さい。

ファイルを開く					? 🔀
ファイルの場所型:	📄 調査依頼ABC		-	← 🗈 📸	
して 最近使ったファイル	C ABC001 ABC002 ABC003				
び デスクトップ					
کر جز ۲					
ער בארד אב					
S.					
マイ ネットワーク	ファイル名(11):			•	開((_)
	ファイルの種類(工):	JGP2ファイル(*.jgp2) JGP1ファイル(*.jgp1)		_	キャンセル
		JGP2ファイル(*,igp2) JGPファイル(*,igp)			

下図が表示され〔OK〕をクリックすると JGP2 ファイルが読み込まれます。

Microsoft Excel	X
データをコンバートします。読み込み後、ご確認くださ	50.
OK	

6.2 データコンバート(詳細型⇒標準型)の制約条件

調査回答ツール(標準型)で読み込まれる(詳細型)の JGP2 ファイルのデータには制約が あり、データコンバートは以下の条件で実行されます。

- 1)標準型ツールで、詳細型のデータを読み込む場合にコンバートを行なう。
- 2) コンバートは、物質群単位行、使用用途・部位単位行について行なう。
 - 基本情報行1、基本情報行2、基本情報行3、部品単位行はそのまま読みこむ。
- 3)物質群単位行
 - ・総含有量は、記載された含有量を各物質群ごとに合計した値とする。
 - ・含有化学物資に関する追記事項は、同じ使用用途分類ごとに、記載内容を読み込み順に連結する。(最大 80 Byte で以降は切り捨て)*1、*2
- 4) 使用用途・部品単位行
 - ・使用用途・目的、使用部位は同じ使用用途分類ごとに内容を読み込み順に連結する。(最大 80 Byte で以降は切り捨て)*1、*2
 - ・含有率は、同じ使用用途分類の内での最大値とする。
 - *1: 連結時にデータ間には「,」(半角1 Byte のカンマ)を入れる。
 - *2: 切捨て時は、末尾 2 Byte を「>>」(半角 1 Byte の大なり記号を 2 つ) にする。
- 7. 旧フォーマットデータ(Ver1, Ver2の JGP ファイル)の読み込み

Ver3 調査回答ツール(標準型)、(詳細型)共に Ver1, Ver2 の調査回答ツールで作成された JGP ファイルのデータを読み込む事が出来ます。(読み込みデータの制限あり) この場合には[LOAD JGP]の際のファイルの種類を JGP に設定し JGP ファイルを読み込んで下さい。

〔LOAD JGP〕をクリックすると下図の「ファイルを開く」の画面が表示されます。 ファイルの種類で JGP ファイルを選択します。 次にフォルダから拡張子 jgp のファイルを選択し 〔**開く**〕をクリックして下さい。

ファイルを開く		? 🗙
ファイルの場所型:	ご 調査依頼ABC ▼ ← ● ●	
していていていていていていていていていています。 最近使ったファイル	ABC001 ABC002 ABC003	
ごうしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしゅう ひんしゅ ひんしゅう ひんしゅう ひんしゅう ひんしゅう ひんしゅう ひんしゅう ひんしゅう ひんしゅ ひんしゅう ひんしゅ ひんしゅう ひんし ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんしゅ ひんし ひんしゅ ひんしゅ ひ		
کر ۲۲ ۴ キ یا		
ער בארד אב ארבארד		
S.		
マイ ネットワーク	ファイル名(N): ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	<u>D</u>
	ファイルの種類(T): JGPファイル(*,jgp) JGP1ファイル(*,jgp1) JGP2ファイル(*,jgp2) JGPファイル(*,jgp2)	

下図が表示されます。〔**OK**〕ボタンをクリックして下さい。 旧フォーマットデータが読み込まれます。

Microsoft Excel	X
旧データを読み込みます。読み込み後、ご確認くだ	さい。
OK	

(注)読み込めるデータには制限があります。

基本情報、調査アイテムの情報は読み込めますが、含有化学物質情報で読み込むのは旧フォ ーマットデータの含有量(mg)のみです。 (旧フォーマットデータ中の含有量自動と含有量手入力のデータは、値の大きい方を総含有量と して読み込みます。)

- 8. その他の各種ボタンの機能
 - 8.1 [Copy] (下図参照)

Copy ボタンをクリックし、この行の対象アイテムの下位のデータ(含有化学物質情報)のみを 他の行の対象アイテムにコピーする事ができます。

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
個	2500.000	Ν	Input	Сору	Clear
			Input	Сору	Clear
			Input	Сору	Clear

操作方法:

コピーしたいデータ行の〔Copy〕ボタンをクリックし、下図の例の様にコピー先の行番号を入 カして〔OK〕をクリックして下さい。

<u>コピー先の行番号は、個別行および連続行で指定する事が出来ます。個別行は半角カンマで区切</u> り、連続行は半角ハイフンを入れます。

【2行目、5行目および8行目から15行目に同じデータをコピーする場合の入力例】

รี-๑ฺธวิยี-				
コピー先の行	ОК			
	.1~100(9)	キャンセル		
2,5,8-15				

8.2 [Clear]

Clear ボタンをクリックすると下記の表示が現れ、〔OK〕をクリックすると、この行の対象アイテムの下位のデータ(含有化学物質情報)のみを消去する事ができます。

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
個	2500.000	Ν	Input	Сору	Clear
			Input	Сору	Clear
			Input	Сору	Clear

Microsoft Excel	×			
この行の部品に関する化学物質調査のデータを消去しますか?				
OK	キャンセル			

8.3 〔昇順〕・〔降順〕(各調査対象アイテム、含有総合判定の並べ替え)

下図の様に、各項目の〔昇順〕・〔降順〕のボタンをクリックし並べ替えを行う事ができます

	昇順 降順	昇順 降順	昇順 降順	昇順 降順	昇順 降順
No.	依頼元の 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	メーカー名	回答元の製品/ 部品/材料の番号	含有総合判定
1					
2					
3					

8.4 〔並べ替え〕

並べ替え画面を表示し、並べ替えを行います。

上記 8.3 の項目以外の調査対象アイテムをキーにした並べ替えが出来ます。 下図の例の様に並べ替えのキーをプルダウンメニューから選択して下さい。三番目まで優先順 位のキーを設定できます。昇順、降順も選択し〔**0K**〕をクリックして下さい。

並べ替え	X
■ 最優先されるキー ■ 依頼元の製品/部品番号	○ 昇順 ○ 降順
2 番目に優先されるキー メーカ名	○ 异順 ○ 降順
- 3 番目に優先されるキー	○ <u>昇順</u> ○ 降順
OK CANCEL	

JGP ファイルの追加読み込みを行います。ファイル指定画面より読み込む JGP ファイルを指定 します。基本情報は読み込みません。

下図の例の様にファイルの種類とファイル名を選択して〔開く〕をクリックします。

ファイルを開く					? 🔀
ファイルの場所型:	📄 調査依頼ABC		-	🗢 🗈 💣 🎫	
して 最近使ったファイル	C ABC001 ABC002 ABC003				
ごう デスクトップ					
ک جز ۲4 الالا					
7 1 - 27 - 29					
S					
マイ ネットワーク	ファイル名(N):			-	開((0)
	ファイルの種類(工):	JGP2ファイル(*.jgp2) JGP1ファイル(*.jgp1) JGP2ファイル(*.jgp2) JGPファイル(*.jgp)		_	

既に部品のデータがある場合、No.の最大の行の次の行から読み込みます。

(注) No. 100 に入力データが存在する場合には、実行しません。下記が表示されます。 また、追加した合計点数が 100 を超えた場合は、100 点までのデータは読み込まれま すが、残りのデータは無視されます。この場合も下記が表示されます。

Warni	ng 🔀
♪	100部品を超えました。読み込みを終了します。
	OK

8.6〔**見出し変更**〕

このボタンで下図の入力例の様に見出し変更の画面に切り替わり、項目見出しを設定する事が 出来ます。(依頼元管理項目、依頼元項目、回答元項目)

- ・依頼元管理項目1~3は依頼元に関する追加情報を記載し、依頼元の設定に基づき使用します。 それ以外の目的では使用しないで下さい。(使用例:部門コード、拠点コードなど)
- ・依頼元管理項目4~6は依頼元で設定し、依頼元が回答元に関する情報を管理するために使用 します。それ以外の目的では使用しないで下さい。(使用例:取引先名、取引先コードなど)
- ・回答元項目1~3は回答元が使用します。(回答元のメモ)
- (注) 見出し変更画面で入力したデータは JGP ファイルには反映されません。
 入力したデータはツールには保存され、入力した内容が画面で表示されます。そのため各 依頼元毎にツールを別のファイル名に変えて保存しておくことをお勧めします。

【入力例】

基本情報	
<u>依頼元管理項目1</u> 部門⊐ード <u>依頼元管理項目2</u> 拠点⊐ード 依頼元管理項目3	<u> 依頼元管理項目4</u> 取引先⊐ード <u> 依頼元管理項目5</u> 依頼元管理項目6
製品·部品·材料情報	回答元項日1
依頼元項目2 依頼元項目3 【ツールの画面の表示例】(上記例の結界	■ <u>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ </u>
ОК	CANCEL

基本情報

整理番号		データフォーマットVer 3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)		
依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名		
DUNSナンバー		
部署名		
担当者名		
電話番号(担当者連絡先)		
FAX番号		
E-MAILアドレス		
依頼元管理項目1 部門コード		
依頼元管理項目2 拠点コード		
依頼元管理項目3		

8.7〔部品一覧印刷〕

基本情報がある画面のこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。 基本情報/製品・部品・材料情報を印刷します。

8.8〔印刷〕

含有化学物質情報の画面にあるこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を 行います。表示している画面の含有化学物質情報を印刷します。

8.9 [エラーチェック] (基本情報画面の場合)

入力データのエラーチェックを実行します。基本情報/製品・部品・材料情報調査と含有化学 物質調査の内容のチェックを行います。エラー、ワーニングが有った場合はエラー画面を表示し ます。 エラー、ワーニングが無かった場合には下図の表示をします。

Microsoft Excel 🔀
エラー、ワーニングはありません
OK

8.10 [エラー確認] (基本情報画面の場合)

エラーチェックの結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に 実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

8.11 [エラーチェック] (含有化学物資情報画面の場合)

入力データのエラーチェックを実行します。表示している含有化学物質調査の内容のチェック を行います。エラー、ワーニングが有った場合はエラー画面を表示します。

8.12 [エラー確認] (含有化学物資情報画面の場合)

エラーチェックの結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に 実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

8.13〔CANCEL〕(含有化学物質情報画面)

入力した内容を破棄して、基本情報/製品・部品・材料情報の画面に戻ります。基本情報/ 製品・部品・材料情報の画面から含有化学物質情報に移った時点の内容に戻ります。